

認証番号0008320

株式会社ワーク

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2021 年9月1日~ 2022 年8月31日)









WORK Co.lift 株式会社 ワーク

作成日: 2022年10月1日

目 次

項目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

口ごあいさつ

未来のこどもたちの為に、環境への負担を少なく【キレイな水】 【おいしい空気】【大きな自然】を残していくことをモットーに、私 たちは常に廃棄物を適正処理・適正リサイクルできるよう、日々 努めております。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社ワークは、産業廃棄物収集運搬及び中間処理に伴う環境負荷の削減と、関係する法規制等の順守、並びに環境目的及び目標を制定し、社員及び株式会社ワークの業務に携わる人々の環境への意識高揚を図り、健全な環境維持向上に努めます。また、資源の有効利用と環境保全を目指して以下の方針に従って環境経営の継続的改善に努めます。

<環境保全への行動指針>

- 1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 2. 廃棄物の減量化
- 3. 水資源の節水
- 4. 環境に配慮した製品・サービスの推進(産業廃棄物の再資源化)
- 5. 働き方改革、労働環境の改善
- 6. 社会貢献

改定日: 2020年10月1日

代表取締役社長 平岡 佐矢香

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名 株式会社ワーク 代表取締役社長 平岡 佐矢香

(2) 所在地

本 社 大阪府堺市西区浜寺石津町西1丁2番28号

高石中間処理工場 大阪府高石市高砂3丁目75番,78番 高石リサイクルセンター 大阪府高石市高砂3丁目77番

橋本工場 和歌山県橋本市神野々字下戸津井谷198-1

和歌山西浜工場 和歌山県和歌山市西浜1660-86

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

 更新日: 2021年10月1日

(4) 事業内容

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理

(5) 事業の規模

法人設立 1995年9月

資本金5,000 万円売上高127,562 万円

	本社	高石中間処理工場	高石リサイクルセンター
従業員	35 名	27 名	5 名
延べ床面積	390 m²	2033. 13 m²	453. 6 m²

	橋本工場	和歌山西浜工場	合計
従業員	16 名	2 名	85 名
延べ床面積	1, 150 m²	126. 14 m²	5, 289 m²

受託した産業廃棄物の処理量

244001010000000000000000000000000000000			
収集運搬量	97, 568 t		
中間処理量	41,064 t	うち再資源化量	19,721 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	21, 343 t	うち再資源化量	19,721 t

車両台数

<u> </u>					
車種	台数	備考		台数	備考
トラクタ	2 台	社用車	セミトレーラー	5 台	社用車
フルトレーラー	1 台	社用車	10t大型車	4 台	社用車
4t中型車	16 台	社用車	2t小型車	8 台	社用車
キャブオーバー	9 台	社用車	乗用車	14 台	社用車
合計				59台	

主要設備

土安议师		
名称	台数	備考
2軸式破砕機	1 台	廃プラ3.6t/日、木くず4.8t/日
1軸式破砕機	1 台	廃プラ119t/、木くず120.1t/日、がれき類139.5t/日
減容圧縮梱包機	1 台	廃プラスチック類、紙くずの再生
1軸式破砕機	1 台	廃プラ4.88t/日
選別施設	2 台	廃プラ、紙、木、繊維、ゴム、金属、ガラス、がれき類

積み替え保管施設

1X / 1 / C / I / C / I			
名称	保管量	保管品目	施設面積
高石中間処理工場内積替保管施設	30. 5 m³	がれき類	21. 3 m³
橋本工場内積替え保管施設	54. 5 m³	廃プラ・紙・木・繊維・ゴム 金属・ガラス・がれき類	58. 2 m³

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社ワーク

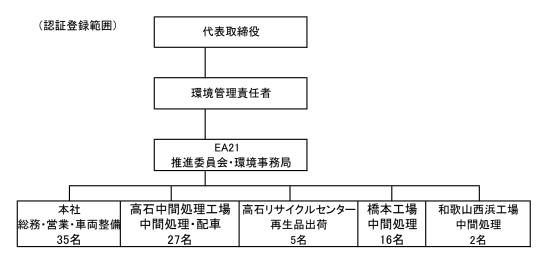
対象事業所: 本社

高石中間処理工場 高石リサイクルセンター

橋本工場 和歌山西浜工場

活動: 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



更新日: 2021年10月1日

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21 の事務局
	 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
10.00	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
推進委員会	・環境経営計画の審議
+= PD ==	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	一、試行・訓練を実施、記録の作成
A / / # =	一・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

口許可の内容

産業廃棄物処分許可の内容

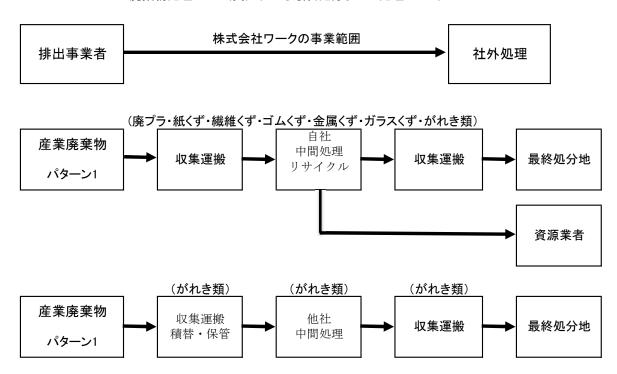
未洗未物处力	11 . J 65 L J.M																
				廃棄物の種類									\Box				
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	プ	紙くず	木くず	維く		金属くず	ラス	れき		燃え殻	アルカ	動物性残渣	さい	
大阪府	第02720035605号	令和1年5月24日	令和6年5月23日	0	0	0	0	0	0	0	0						
和歌山県	第03022035605号	平成28年9月6日	令和8年7月27日	0	0	0	0	0	0	0	0						
和歌山市	第07220035605号	平成29年10月3日	令和4年10月2日	0	0	О	0	0	0	0	0						

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

7	元未初八木	(注)以末口 りのド	1.D.							Б	* #	F #-/m	ΔI	壬 47	-					\neg
- 1					廃棄物の種類															
- 1					廃	紙	木	繊	ゴー	金	ガ	が	廃	汚	燃	廃	廃	動	鉱	ば
- 1					ゔ	7		維	厶		ラ	れ		泥						
- 1	許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	_	_12		业	-	庙	-	れき	/"			田久				
- 1		DI (2) EE (2)	DISTAI	ם נידומו היווו	ラ	ず	ず	 < 	 < 	\ \		類			殻			性	ויט	
- 1								ず	ず	ず	陶	75					カ	残	. 1	ん
- 1								-		-	磁							渣	. 1	
L											器							"		
Γ	大阪府	第02710035605号	令和3年1月30日	令和8年1月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O	O	O
Γ	和歌山県	第03012035605号	平成30年4月18日	令和4年10月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O
	兵庫県	第02803035605号	令和3年6月10日	令和8年6月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O
ſ	京都府	第02600035605号	令和2年10月13日	令和7年9月21日	0	0	0	0	0	0	0	0								
	奈良県	第02900035605号	平成28年12月15日	令和8年10月8日	0	0	О	О	О	0	0	0								
	三重県	第02400035605号	平成29年12月15日	令和4年12月14日	0	0	0	0	0	0	0	0								
	岡山県	第03305035605号	令和1年12月24日	令和7年11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0								
	大分県	第04402035605号	令和2年11月2日	令和7年11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0								
	福岡県	第04000035605号	令和3年4月6日	令和8年4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0								
	滋賀県	第02501035605号	令和3年3月27日	令和8年3月26日	0	0	0	0	0	0	0	0								
	熊本県	第04305035605号	令和2年3月3日	令和7年3月2日	0	0	0	0	0	0	0	0								

□処理工程図

廃棄物処理フロー(受入れから最終処分までの処理フロー)



口主な環境負荷の実績

C-24-20-24-1-1-4-2-2-1-124				
項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	${ m kg ext{-}CO_2}$	1,879,992	1,753,714	1,432,167
受託収集運搬量	トン	80,389	112,589	97,568
受託中間処理量	トン	53,593	51,135	41,064
中間処理後の産廃処分量	トン	23,441	26,956	21,343
廃棄物排出量	kg	1,304	1,281	1,228
一般廃棄物排出量	kg	1304	1,281	1,228
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
水使用量	m³	4909	5,582	3,379

口環境経営目標及びその実績

		基準値		21年		2022年	2023年
項 目	度		上段:	通期	評価		
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素	kg-C02	429,340	416,460	312,051	0	412,167	407,873
削減							
	基準年度比	2017年	97%	73%		96%	95%
自動車燃料による二酸	kg-C02	1,449,544	1,406,058	1,120,117	0	1,391,562	1,377,067
化炭素削減							
	基準年度比	2017年	97%	77%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,893,234	1,836,580	1,445,623	0	1,817,505	1,798,572
	kg	1,320	1,267	1,228	0	1,254	1,241
一般廃棄物の削減							
	基準年度比	2017年	96%	93%		95%	94%
受託廃棄物のリサイク	%	52%	52%	38%	X	52%	54%
ル率の向上							
水道水の削減	m³	4,909	4,713	3,379	0	4,516	4,418
	基準年度比	2017年	96%	69%		92%	90%
環境に配慮した収集運 搬			行動目	票(次項による	5)		

[※]二酸化炭素排出係数 0.493 kg-CO2/kWh 2016年度関西電力(㈱の調整後の係数

□環境経営計画の取組結果とその評価

数值目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	
数値目標	0	本社屋上の太陽光パネルの効果もあり本社はもとより他の部署も
・工場、事務所の昼休みは消灯	0	節電ができたと思います。これを機に、不必要な個所の見極めをし
・不要照明の消灯	Δ	ていきましょう。
・各機器の省電力化	0	
・ブラインド、カーテン等での室内温度の調整	0	



取組紹介欄

- 節電を促す張り紙
- クールビズ、ウォームビズの励行 作業計画をしっかりたて効率の良い設備の稼働を意識する 設備の点検をこまめに行う

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	72,302	72,302	72,858	76,132	67,657	68,075	75,622	66,486	70,501	72,738	78,987	77,213
2021年	61,680	55,920	52,131	56,827	48,722	46,425	51,237	48,234	45,816	54,985	57,198	53,788
		-		-	-	-	-	-		2017年計		870,873
										2021年計		632,963

7

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	
数値目標	0	やはり車両を走らせて、廃棄物を収集させる、工場から搬出させる
・アイドリングストップ	0	といた部分が事業の基本的な部分ですのでなかなか削減は難しい
効率的なルートで配送	0	です。車両を低燃費車に入れ替えるにも新車、中古車ともに市場が
		高騰しているうえに流通量が少ないといった向かい風の状態です。
		しかし改善策をみつけていくのは非常に重要な企業努力だと思って
		おりますので、何としてでも削減できるように考えていきます。

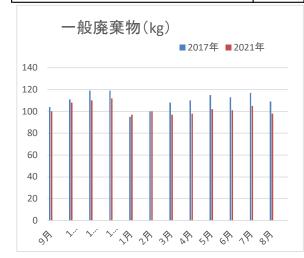


取組紹介欄

- ・ アイドリングストップの教育
- 営業活動の効率的なルート化 運行前点検、定期点検を確実に実施

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	75,609	85,442	95,630	96,949	103,765	104,210	163,326	140,478	137,660	156,604	131,283	158,588
2021年	103,813	110,686	97,643	96,014	104,514	92,389	83,043	97,622	83,258	85,231	77,870	88,035
									2017年計	•	1,449,544	
										2021年計		1,120,117

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0	一年を通して大きく前進したと思います。さらなる電子化を進めてい
・文書の電子化	Δ	きましょう。
・両面コピー	0	
・書類見直しによる印刷物の削減	Δ	



取組紹介欄

- ・コピー用紙の両面使用
- ・ 社内資料のペーパーレス化
- 分別による減容化

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	104	111	119	119	95	100	108	110	115	113	117	109
2021年	100	108	110	112	97	100	97	98	102	101	105	98
										2017年計		1,320
										2021年計		1,228

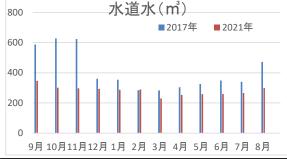
8

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	X	搬入量は減少し、再生できる廃棄物も限られてきているなか、頑
・排出先の分別徹底の依頼	Δ	張って分別できていると思います。現状に甘えずさらなるリサイクル
・選別の徹底	Δ	率の向上を目指しましょう。処理部も排出先の開拓をよろしくお願い
•再生利用化の推進	×	いたします。

取組紹介欄

- ・ 作業員の手選別の教育を徹底する
- ・ 営業からの排出先への分別の徹底、危険物、不適物の混入を防ぐ注意喚起
- 設備機械を安定的に動かすため、日々のメンテナンスをしかりする。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0	搬入量はこれからも減少すると予想されます、この中で無駄の部分
・節水シールの貼り付け	0	をさらに改善できるようお願いします。
出しっ放し禁止	0	
・洗車時の最小限の水使用	Δ	



取組紹介欄

- ・ 節水シールをはり従業員に周知させている
- ・埃を出さない作業を考え散水量を削減
- ・ 無駄のない散水を考える

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	587	628	624	360	354	284	283	304	325	349	340	471
2021年	346	301	297	293	287	289	229	253	259	260	266	299

2017年計4,9092021年計3,379

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
•運行前点検		明らかな不注意の事故が多いです。特に人災と思える作業中の事
・エコドライブの推進	Δ	故が多いので安全の意識を高めてください。
・車両の清掃	0	

取組紹介欄

· 運行前点検の徹底実施

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

E 法規制は次の通りです。	
適用される事項(施設・物質・事業活動等)	評価
産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油、蛍光灯等)	順守
事業許可の有効期限、収集運搬車両の表示	順守
委託者への通知制度	順守
営業用乗用車、トラック	順守
一破砕機、コンプレッサー	順守
破砕機、コンプレッサー	順守
火災報知器、屋内消火栓の設置	順守
少量危険物の届出、移動給油タンク	順守
適合車等の使用の義務	順守
収集車及び排出車の過積載の禁止	順守
	順守
	適用される事項(施設・物質・事業活動等) 産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油、蛍光灯等) 事業許可の有効期限、収集運搬車両の表示 委託者への通知制度 営業用乗用車、トラック 破砕機、コンプレッサー 破砕機、コンプレッサー 火災報知器、屋内消火栓の設置 少量危険物の届出、移動給油タンク 適合車等の使用の義務

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

口代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2022年10月1日 代表取締役 平岡 佐矢香

昨年に続きコロナ (COVID-19) の流行により緊急事態宣言の発令が幾度とあり、最新では第5波までくるなど厳しい生活環境におかれ様々な制限にしいられてきました。そんな中弊社に関しては大きな影響もなく事業を進めてくることができました。しかし、依然人員不足は解消されず大きな悩みの一つです。ここ数年様々な従業員の募集方法を模索してもなかなか集まらないので現状の人員で出来る事を考えていくしかないと思っております。

リサイクルの質や意識は落とさず従業員一同で着実に環境保全・改善に積極的に取り 組んで参ります。

> 環境経営方針 ■ 変更なし □ 変更あり 環境経営目標・計画 ■ 変更なし □ 変更あり 実施体制 ■ 変更なし □ 変更あり